

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科／子ども教育学科		
科目名称	生涯学習概論						授業形態		講義	
科目コード	750054	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	植村 秀人								ICT活 用	
授業概要	本講義は、生涯学習に関する科目である。内容としては、生涯学習の歴史的意義の理解、行政の体制、学習者の理解や支援、生涯学習施設の把握及び生涯学習施設と学校の連携について取り扱う。本授業では、生涯学習の意義や行政施策の理解をするとともに、学習者の学習課題やその支援の理解、生涯学習施設（公民館や図書館・博物館）の歴史的展開や役割の理解、生涯学習と学校教育の関わりや生涯学習施設と学校教育の連携についての理解が得られることを目標とする。環境園芸学科の学芸員資格取得希望者と子ども教育学科の小学校教員・幼稚園教員・保育士資格取得希望者が合同で受講する科目であり、小学校・保育園・幼稚園と社会教育との連携についても踏まえた内容としている。									
関連する科目	子ども教育学科主 4年次開講となるので教育学概論など教育学系の科目を受講しておくこと。 環境園芸学科主									
授業の進め方 と方法	本授業は、講義形式で実施する。									
授業計画 【第1回】	はじめに～生涯学習への入り口～ 本授業のテーマとなる「生涯学習」や「社会教育」の概要について概要を知る。									
授業計画 【第2回】	生涯学習とは何か～生涯学習・社会教育と学校（テキスト「はじめに」「序章」）～ 授業の概要や生涯学習・社会教育・学校教育の基本的概念と相互の関わりについて知る。									
授業計画 【第3回】	生涯学習・社会教育の基礎Ⅰ～生涯学習・社会教育の思想と歴史（テキスト：第1章）～ 生涯学習・社会教育の背景となる思想・理念やその歴史について知る。									
授業計画 【第4回】	生涯学習・社会教育の基礎Ⅱ～生涯学習・社会教育社会教育・生涯学習の法制と行政（テキスト：第2章）～ 生涯学習・社会教育を振興する法律や行政の現状について知る。									
授業計画 【第5回】	生涯学習・社会教育の基礎Ⅲ～生涯学習・社会教育習の施設と職員（テキスト：第3章）①一般的な施設、図書館・図書館司書について～ 生涯学習・社会教育を支える職員や実践の場である施設について知る。今回は、特に施設の種類、図書館と図書館司書を重点的に扱う。									
授業計画 【第6回】	生涯学習・社会教育の基礎Ⅳ～生涯学習・社会教育の施設と職員（テキスト：第3章）②社会教育主事と公民館～ 生涯学習・社会教育を支える職員や実践の場である施設について知る。今回は、特に公民館と社会教育主事、そして施設の設置形態について重点的に扱う。									
授業計画 【第7回】	生涯学習・社会教育の基礎Ⅴ～生涯学習・社会教育の対象と方法（テキスト：第4章）～ 生涯学習・社会教育の対象者による違いや実践の方法について知る。									
授業計画 【第8回】	生涯学習・社会教育の基礎Ⅵ～世界の生涯学習政策（テキスト：第5章）～ 海外の社会教育・生涯学習について知る。									
授業計画 【第9回】	学校と社会教育の連携Ⅰ～「開かれた学校」にみる社会教育（テキスト：第6章）～ 生涯学習・社会教育に関して、学校教育との関わりや学校教育の活性化との関係を知る。									
授業計画 【第10回】	学校と社会教育の連携Ⅱ～地域文化の継承・地域防災教育の展開（テキスト：第7章・第8章）～ 学校教育と社会教育の連携による地域文化継承・防災教育について事例を知り、生涯学習・社会教育の可能性を考える。									

授業計画 【第11回】	地域における生涯学習・社会教育Ⅰ～貧困・格差社会を生きる子どもの暮らしと社会教育（テキスト：第9章）～ 貧困や格差問題への生涯学習・社会教育の関わりについて知る。
授業計画 【第12回】	地域における生涯学習・社会教育Ⅱ～若者支援と居場所づくり（テキスト：第10章）～ 若者支援における生涯学習・社会教育の役割を考える。
授業計画 【第13回】	地域における生涯学習・社会教育Ⅲ～地域スポーツの推進と生涯学習（テキスト：第11章）～ 地域スポーツの意義などについて考える。
授業計画 【第14回】	地域における生涯学習・社会教育Ⅳ～地域課題解決と生涯学習（配付資料）～ 地域課題解決にどのように生涯学習・社会教育が貢献できるかを考える。
授業計画 【第15回】	おわりに～多様性を包摂する社会教育を目指して（テキスト：第12章）～ 主に障害者を持つ人々と生涯学習・社会教育の関係、およびまとめを行う。
授業の到達目標	両学科共通の目標として以下の3点について一定程度得られることを目標とする。 ○生涯学習の意義や行政施策の理解 ○博物館・図書館・公民館など生涯学習施設の歴史的展開や役割の理解 ○生涯学習と学校教育の関わりや生涯学習施設と学校教育の連携についての理解 また、両学科については、学科の特徴から以下の点についてそれぞれ到達目標とする。 ○環境園芸学科生は、学芸員として必要な学習者の学習課題やその支援の理解している。 ○子ども教育学科生は、教師や保育士として生涯学習機関・施設との連携協力についての理解している。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	テキストを事前に読む（1時間） 事前設定の各種課題の作成を行う（30分）
授業時間外学習【復習】	テキストを読み直す（1時間） 事後設定の課題などを行う（1時間）
課題に対する フィードバック	レポートについては、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。
評価方法・基準	感想文(ミニレポート) 60点(4点×15回) 授業への姿勢 10点(グループワーク等も含む) 中間課題 10点 最終レポート 20点 感想文(ミニレポート)は、当日提出とする。
テキスト	教科書名 社会教育・生涯学習（MINERVAはじめて学ぶ教職 7） ISBNコード 978-4623084470 著者名 吉田武男（監修）、手打明敏（編集）、上田孝典（編集） 出版社 ミネルヴァ書房（2019/1/16）
参考書	佐藤晴雄 生涯学習概論 田中克佳 教育史 加野芳正 新しい時代の教育社会学 木村元 日本の学校受容 片桐芳雄・木村元 教育から見る日本の社会と歴史
備考	最終レポート課題 「人にとって、『学校以外で学ぶことの意義』をあなたはどのように考えますか」授業を含めて回答しなさい。 1200字以内を想定する。